

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年7月13日

**【四半期会計期間】** 第25期第1四半期(自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)

**【会社名】** 株式会社ワンダーコーポレーション

**【英訳名】** WonderCorporation

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 日下孝明

**【本店の所在の場所】** 茨城県つくば市西大橋599番地1

**【電話番号】** 029(853)1313 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部副本部長 塚田英雄

**【最寄りの連絡場所】** 茨城県つくば市西大橋599番地1

**【電話番号】** 029(853)1313 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部副本部長 塚田英雄

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第24期 第1四半期 連結累計期間	第25期 第1四半期 連結累計期間	第24期
会計期間		自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日	自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
売上高	(千円)	14,654,087	15,498,377	65,689,451
経常利益	(千円)	145,883	331,353	1,379,227
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失( )	(千円)	479,560	99,486	331,818
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	479,632	99,289	331,550
純資産額	(千円)	10,028,124	10,145,111	10,173,694
総資産額	(千円)	27,429,326	26,637,159	26,746,653
1株当たり四半期純利益金額 又は1株当たり四半期(当期)純 損失金額( )	(円)	9,375.76	1,945.04	6,487.30
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)			
自己資本比率	(%)	36.4	37.9	37.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第24期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等は次のとおりです。

(株式取得による会社等の買収)

当社は平成24年4月26日開催の当社取締役会において、株式会社サンレジャーの株式を取得し、子会社化することを決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項(重要な後発事象)」に記載しております。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で低下した企業の生産活動が回復に向かっているものの、欧州の政府債務危機等による欧米経済の先行きへの懸念や円高により、景気の先行きは依然不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは更なる事業拡大のため、資本業務提携先である株式会社サンレジャーの株式を追加取得し、子会社化することを4月26日の取締役会において決議いたしました。また、5月24日付で代表取締役社長に日下孝明氏が就任し、新たな経営体制のもと、経営基盤の更なる強化と企業価値の向上を図ってまいります。

WonderG00事業におきましては、お客様のスマートフォンで認証フリーのWi-Fi環境と店内限定コンテンツをお楽しみいただけるサービス「WonderG00 Touch!」を4月より開始いたしました。今後、この「WonderG00 Touch!」を通じて、店舗をコンテンツとお客様が集まる場所、ネットとリアルが融合するハイブリッド型店舗として進化させてまいります。

WonderREX事業におきましては、買取品の補修を集中して行うリペアセンターを業務拡大のため移転し、補修効率の更なる向上に努めてまいりました。また、店舗の業務フローの見直しを行い、買取から販売までの効率化を目的とした改装を行いました。

店舗面におきましては、当第1四半期連結会計期間末の直営店舗数は97店舗、F C店舗数は22店舗となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は15,498百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益299百万円(前年同期比141.1%増)、経常利益331百万円(前年同期比127.1%増)、四半期純利益99百万円(前年同期は479百万円の四半期純損失)となりました。

なお、セグメントの業績は、WonderG00事業の売上高は14,117百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は230百万円(前年同期比79.9%増)、WonderREX事業の売上高は1,366百万円(前年同期比32.5%増)、営業利益は62百万円(前年同期は11百万円の営業損失)、その他事業の売上高は14百万円(前年同期比

10.4%減)、営業利益は7百万円(前年同期比8.7%減)、となりました。

## (2) 財政状態の分析

### 資産、負債及び純資産の状況

#### (流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は、14,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円増加いたしました。これは主に未収入金が135百万円減少したものの、現金及び預金が245百万円増加したことによるものです。

#### (固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は、12,276百万円となり、前連結会計年度末に比べ249百万円減少いたしました。これは主に無形固定資産が6百万円増加したものの、有形固定資産が133百万円、投資その他の資産が122百万円減少したことによるものです。

#### (流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は、13,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ208百万円増加いたしました。これは主に買掛金が318百万円、1年内返済予定の長期借入金が68百万円減少したものの、短期借入金が200百万円、未払法人税等が210百万円、賞与引当金が151百万円増加したことによるものです。

#### (固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は、3,144百万円となり、前連結会計年度末に比べ289百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が277百万円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、10,145百万円となり、前連結会計年度末に比べ28百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益99百万円の増加と、剰余金の配当127百万円の支払いによるものです。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	124,720
計	124,720

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年7月13日)	上場金融商品取引所名又は登録 認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	54,036	54,036	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株制度を採用 していません。
計	54,036	54,036		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年3月1日～ 平成24年5月31日		54,036		2,358,900		2,360,793

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

平成24年5月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,887		
完全議決権株式(その他)	普通株式 51,149	51,149	
単元未満株式			
発行済株式総数	54,036		
総株主の議決権		51,149	

## 【自己株式等】

平成24年5月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ワンダーコーポレーション	茨城県つくば市西大橋 599番地1	2,887		2,887	5.3
計		2,887		2,887	5.3

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	964,230	1,210,136
売掛金	859,721	766,732
商品	9,457,339	9,371,056
貯蔵品	22,789	26,836
未収入金	1,513,793	1,378,295
繰延税金資産	808,361	885,892
その他	597,456	724,322
貸倒引当金	2,563	2,544
流動資産合計	14,221,130	14,360,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,747,782	4,627,613
その他(純額)	1,497,976	1,484,786
有形固定資産合計	6,245,758	6,112,400
無形固定資産		
その他	315,957	322,400
無形固定資産合計	315,957	322,400
投資その他の資産		
敷金及び保証金	4,716,087	4,614,384
その他	1,326,984	1,396,477
貸倒引当金	79,265	169,231
投資その他の資産合計	5,963,806	5,841,630
固定資産合計	12,525,523	12,276,431
資産合計	26,746,653	26,637,159



	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,305,791	4,987,619
短期借入金	3,650,000	3,850,000
1年内返済予定の長期借入金	1,254,496	1,185,996
未払法人税等	21,258	231,538
賞与引当金	145,819	297,194
ポイント引当金	1,348,775	1,352,266
災害損失引当金	4,730	530
その他	1,408,112	1,442,274
流動負債合計	13,138,983	13,347,419
固定負債		
長期借入金	1,760,150	1,483,026
退職給付引当金	186,281	188,923
長期預り保証金	280,908	290,233
資産除去債務	484,914	487,292
その他	721,721	695,152
固定負債合計	3,433,975	3,144,628
負債合計	16,572,958	16,492,047
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,358,900	2,358,900
資本剰余金	2,360,793	2,360,793
利益剰余金	5,625,339	5,596,954
自己株式	212,931	212,931
株主資本合計	10,132,103	10,103,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	355	158
その他の包括利益累計額合計	355	158
新株予約権	41,236	41,236
純資産合計	10,173,694	10,145,111
負債純資産合計	26,746,653	26,637,159

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	14,654,087	15,498,377
売上原価	10,761,453	11,243,253
売上総利益	3,892,634	4,255,123
販売費及び一般管理費	3,768,343	3,955,460
営業利益	124,290	299,662
営業外収益		
受取利息	11,887	11,107
受取手数料	21,119	24,313
その他	19,111	22,873
営業外収益合計	52,118	58,295
営業外費用		
支払利息	30,444	25,364
その他	81	1,240
営業外費用合計	30,525	26,604
経常利益	145,883	331,353
特別利益		
固定資産売却益	-	7,177
貸倒引当金戻入額	2,052	-
災害見舞金	13,060	-
特別利益合計	15,112	7,177
特別損失		
固定資産除却損	15,054	-
減損損失	64,736	-
貸倒引当金繰入額	-	90,116
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	224,321	-
災害による損失	292,722	-
特別損失合計	596,834	90,116
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	435,838	248,414
法人税、住民税及び事業税	30,639	219,280
法人税等調整額	13,082	70,352
法人税等合計	43,722	148,927
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失( )	479,560	99,486
四半期純利益又は四半期純損失( )	479,560	99,486

【四半期連結包括利益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失( )	479,560	99,486
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	196
その他の包括利益合計	71	196
四半期包括利益	479,632	99,289
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	479,632	99,289
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## 【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

## 【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
減価償却費	222,497千円	214,390千円
のれんの償却額	9,006千円	千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年4月14日 取締役会	普通株式	127,872	2,500	平成23年2月28日	平成23年5月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年4月9日 取締役会	普通株式	127,872	2,500	平成24年2月29日	平成24年5月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	WonderG00	WonderREX	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,606,349	1,031,290	14,637,639	16,447	14,654,087		14,654,087
セグメント間の内部 売上高又は振替高				422	422	422	
計	13,606,349	1,031,290	14,637,639	16,870	14,654,510	422	14,654,087
セグメント利益	127,873	11,760	116,113	8,177	124,290		124,290

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サプライ用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	WonderG00	WonderREX	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,117,138	1,366,508	15,483,647	14,729	15,498,377		15,498,377
セグメント間の内部 売上高又は振替高				483	483	483	
計	14,117,138	1,366,508	15,483,647	15,212	15,498,860	483	15,498,377
セグメント利益	230,056	62,138	292,194	7,468	299,662		299,662

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、サプライ用品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額( )	9,375円76銭	1,945円04銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失( )(千円)	479,560	99,486
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額( )(千円)	479,560	99,486
普通株式の期中平均株式数(株)	51,149	51,149

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

(株式取得による会社等の買収)

当社は、平成24年4月26日開催の当社取締役会において、株式会社サンレジャーの株式を取得し、子会社化することを決議し、平成24年6月1日付で株式会社サンレジャーの株式を取得し、子会社化いたしました。

1. 取得による企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

名称	株式会社サンレジャー
事業の内容	DVD、CD、雑誌、ゲームの販売及びDVD、CDのレンタル

(2) 企業結合を行う主な理由

当社及び株式会社サンレジャーは、当社が持つDVD・CD・ゲーム等のセル及びリサイクルに関するノウハウと、株式会社サンレジャーが持つDVD・CDのレンタルに関するノウハウを相互に提供することにより、両社の企業価値の向上を図ることを目的として平成23年7月21日に資本業務提携契約書を締結し、業務提携の詳細について協議・検討を行ってまいりました。

両社が属するエンタテインメント小売業界におきましては、ネット通販や電子書籍、音楽・映像のコンテンツ配信等、商品やサービスを得る手段の多様化により、業種業態を超えた企業間競争が激化し、厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、今後は、当社と重複しない地域における株式会社サンレジャー店舗を更なる大型店舗として移転増床することで、当社の更なる事業拡大を図ります。更には当社より人員の派遣、運営・管理手法や仕入の共有化等の強みを活用することによりシナジーの強化を図るため、同社株式の追加取得を行い、子会社化するものであります。

(3) 企業結合日

平成24年6月1日

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 取得する議決権比率

企業結合直前に所有している議決権比率 2.90%

企業結合日に追加取得する議決権比率	58.14%
取得後の議決権比率	61.04%

(6) 取得企業を決定するに至った主な根拠

現金を対価とした株式取得により、当社が議決権の61.04%を獲得するためであります。

2. 被取得企業の取得原価及びその内訳

取得の対価	従来から保有している株式会社サンレジャーの株式の企業結合日における時価	30,000千円
	企業結合日において取得する株式会社サンレジャーの株式の時価	602,400千円
取得に直接要した費用	アドバイザー費用等	39,300千円
合計		671,700千円

3. 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計との差額

段階取得による差損益 千円

4. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	1,196,102千円
固定資産	1,511,414千円
資産合計	2,707,516千円
流動負債	1,353,598千円
固定負債	1,353,135千円
負債合計	2,706,734千円
少数株主持分	782千円

5. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

発生したのれんの金額

671,700千円

発生原因

企業結合時の時価純資産の持分が取得原価を下回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

償却方法及び償却期間

7年間にわたる均等償却

(自己株式の処分)

当社は、平成24年4月26日開催の当社取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、平成24年6月1日付で以下のとおり実施いたしました。

なお、当該第三者割当による自己株式の処分に伴い、当社の大株主の異動があります。

1. 自己株式の処分

(1) 処分株式数

普通株式2,887株

(2) 処分価格

1株につき金80,300円

(3) 資金調達の額

231,826,100円

(4) 処分方法

第三者割当による処分

(5) 処分先

日下 孝明

(6) 処分期日

平成24年6月1日

(7) 目的

当社が属するエンタテインメント小売業界におきましては、ネット通販や電子書籍、音楽・映像のコンテンツ配信等、商品やサービスを得る手段の多様化により、業種業態を超えた企業間競争が激化する等、厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、当社は更なる企業価値の向上のため、音楽・映像ソフトのレンタル事業を含めた大型複合店舗の積極的な出店により、事業拡大を目指します。そのためには現在、当社と資本業務提携関係にある株式会社サンレジャーとの一層の関係の深化が重要であります。

処分先である日下 孝明氏は、株式会社サンレジャーの取締役会長であり、レンタル事業における豊富な経験、アイデアや広い人脈を持っております。今般、レンタル事業を中心に展開している株式会社サンレジャーを子会社化し集客力の高い大型複合店舗を共に出店するにあたり、同氏は5月24日付で当社の代表取締役役に就任いたしました。また、当社の経営への参画意識をより高め、レンタルをはじめとするエンタテインメント小売業界における当社のシェアを拡大し、企業価値向上に資するものとして、同氏に対して当社株式を割り当てるものであります。

2. 大株主の異動

(1) 当該異動に係る大株主の氏名又は名称

新たに大株主となるもの

日下 孝明

(2) 当該異動に係る大株主の持分比率

日下 孝明 5.38%

なお、処分後の大株主の持分比率は、平成24年2月29日現在の発行済株式総数（54,036株）から株式会社サンレジャーが所有し相互保有となる株式数（400株）を控除して計算しております。

2 【その他】

平成24年4月9日開催の取締役会において、剰余金の配当を行うことを次のとおり決議いたしました。

配当金の総額	127,872千円
1株当たり配当金額	2,500円
基準日	平成24年2月29日
効力発生日	平成24年5月9日



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月11日

株式会社 ワンダーコーポレーション  
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大 高 俊 幸 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 陸 田 雅 彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ワンダーコーポレーションの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年3月1日から平成24年5月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ワンダーコーポレーション及び連結子会社の平成24年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## 強調事項

1. 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成24年4月26日開催の取締役会において、株式会社サンレジャーの株式を取得し、子会社化することを決議し、平成24年6月1日付で株式会社サンレジャーの株式を取得し、子会社化している。当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。
2. 重要な後発事象に記載されているとおり、会社は平成24年4月26日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を行うことを決議し、平成24年6月1日付で処分を実施している。当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- 
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。